



「言葉の力」を育むもの

副校長 嵩原 佐知子



1年生の教室から、「なす」「ながぐつ」「なかま」という声が聞こえてきました。習うひらがなは46個。この文

字が集まり「言葉」になるとき、人は自分のいろいろな感情や意見を表現することができます。

では、子どもたちは言葉をつかって自分の感情を表現することができるのでしょうか。また、できるためには何が必要なのでしょうか。

学校では自分の気持ちをうまく表現できず、困っている子どもたちの姿を目にすることがあります。その子どもたちは、自分の感情や意見はあるけれど、ぴったり当てはまる言葉を知らないのかも知れません。日常で耳にする「ヤバイ」「マジ」などの言葉だけで、複雑な人間の感情を表現することはできません。また、表現は「好き」「嫌い」といった単純なものではありません。

子どもが初めての感情に向き合っているとき、「切ないんだね。」「感激しているのね。」と、大人が、気持ちに当てはまる表現を示してあげることで、子どもは複雑な感情とリンクする「語彙」を習得していくことができます。

また、子どもたちは学校で、対人関係の問題に直面することもあります。そのときも、自分の感情を表現できずうまく関わり合いをもてない姿を見ることがあります。ややもすると、「もういい。」「関わりたくない。」という状況をも招きます。

そんなとき、「大丈夫、どうしたい？一つずつ丁寧に思いを伝えていこう。」と、そばで「伴走」するように、寄り添う教師の姿を見ます。自分の思いを伝え、問題を乗り越えたときの子どもの表情は、晴れ晴れとしていて、頼もしささえ覚えます。

子どもたちが言葉を使って、自分の感情を表現するために必要なことは、豊かな語彙に触れることと、温かい眼差しで「大丈夫だよ。」と背中を押して伴走してくれる大人の存在だと思います。

子どもたちが「もういいよ。」と諦めそうになったとき、大人は子どもを大事に思って「そうだね。もういいよ。」と、いう場面もあるかも知れません。そんなとき、「それは子どもが表現力を広げる機会を制限しているのではないかと、立ち止まって考えることが必要です。子どもが「言葉で思いを伝えてみよう。」というエネルギーがもてるよう、大人は子どものよき伴走者でありたいです。

言葉は時として人を傷つけたり、人を救ったりします。その言葉の重さや美しさを感じ学びながら、自己表現や関わり合いの根っことなる「言葉の力」を育ててまいります。

引き続き保護者・地域の皆様には、子どもたちへの豊かな言葉掛けとともに、そばで伴走するような関わりをよろしく願っています。



6月の行事予定

登校時間 8時15分～8時25分

6月の生活目標

ていねいな言葉づかいを心がけよう

6月			
1 (土)		17 (月)	振替休業日
2 (日)		18 (火)	2年芝久保図書館見学 S C
3 (月)	安全指導 読書週間始 ドキドキ読み聞かせ ふれあいアンケート	19 (水)	全校朝会 クラブ活動 4～6年15:05下校
4 (火)	体力テスト S C	20 (木)	避難訓練 全学年14:35下校
5 (水)	全校朝会 2～6年14:15下校	21 (金)	研究授業日 全学年4時間授業13:10一斉下校 2-1、2-3、5-2、6-3掃除なし 14:15下校
6 (木)	たてわり班活動	22 (土)	
7 (金)	1年遠足 月曜時間割※3年は6時間授業	23 (日)	
8 (土)		24 (月)	
9 (日)		25 (火)	6年移動教室前健診 S C
10 (月)	水泳指導始 けやき教室授業参観(14日まで)	26 (水)	全校朝会 6年移動教室1日目
11 (火)	体力テスト予備日 S C	27 (木)	6年移動教室2日目 給食試食会(1年生保護者対象)
12 (水)	児童集会 クラブ活動	28 (金)	6年移動教室3日目
13 (木)		29 (土)	
14 (金)	万引き防止の音楽劇 教育実習終	30 (日)	
15 (土)	土曜授業(授業公開) 12:15下校 セーフィ教室 読書週間終	S C : スクールカウンセラーの来校日 直通電話番号 : 468-7392	
16 (日)			

離任者の挨拶



転入者の挨拶

